

空気中の水をつかまえる

しらべたいことがわかるようなタイトルをつけよう。

なまえをわすれずに書こう。

年 組 名 前 ()

きっかけ

どうしてしらべようと思ったのか、きっかけになったことを書こう。

空のペットボトルを外に置いたままにしていたら中に水てきがついていた。空気中の水分を、ペットボトルだけで集めることができるのかを調べてみようと思った。



じっけんのやり方

つけたものや、しらべるやり方を書こう。絵やしやしんもつかうとわかりやすいぞ。

よくかわいた2リットルのペットボトルをしばらく日なたに置いておき、中のようすを観察する。



よそう

しらべる前に、けっかをよそうして書く。よそうした理由も書こう。

空気にふくまれる水じょう気を、ペットボトルに集めることができると思う。

けっか

じっけんのけっかだけを書く。表やグラフ、しやしんをつかうとわかりやすいぞ。

ペットボトルの内側に細かい水てきがついてくもった。



わかったこと

けっかからわかったこと、かんがえたことを書く。よそうとちがったときは、どうしてそうなったのかかんがえてみよう。

太陽の光でペットボトルの中の空気があたためられた。ペットボトルの外側の温度の方が低いため表面が冷やされて、中の空気にふくまれていた水じょう気を水てきにかえることができた。

まとめ

けっかとわかったことをまとめて、つぎにしらべてみたいことを書こう。

ペットボトルの中と外の温度に差があると、水じょう気を水にすることができる。水てきのつき方は天気によって変わるのだろうか。晴れが続いた日や雨上がりの時は、ペットボトルの中につく水てきの量が増えるのかを調べてみたい。